

### 302) Don't disturb

世田谷にある会社のグラウンドで、毎年運動会がありました。若かった頃のこととて、みんなで参加して3時ごろに、お土産などもらって解散と相成るのですが、グラウンドの近所に同期入社 of 斎藤と言う奴がいるから、そこへ行ってみようという話になりました。彼は先日結婚してこの辺に引っ越してきたから、ちょっと新婚家庭を覗きに行こうと言うことになったのであります。綺麗な5階建てのマンションの3階の彼の家のベルを押すと、返事がありません。仕方なくまた押してもナニも答えが帰ってきません。もう一度押して留守みたいだから、さあ帰ろうかと言っていると、中から、「今、駄目や〜、オレもカーちゃんも仕事で、何にも着てないんだ〜。またにしてくれ〜」と言うではありませんか。それにしてもなんにも着ないです仕事って、いったい何だべ〜と、一瞬考え込んでから一同顔を見合わせて、やむなく帰路に着いたのであります。それから20年この方は去る国立大学の教授殿に納まったのであります。